

RAD-F3357M-K (07-9723)
RAD-F3357M-W (07-9724)



保証書付 取扱説明書

AudioComm
AM/FM デジタルクロックラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保管してください。

(キリトリ線)-

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
 2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社保証ご相談センターにお問い合わせください。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz DC6V 単2形乾電池×4本 (別売)
定格消費電力	4W
受信周波数	AM 522ー1638kHz (9kHzステップ) FM 76ー108MHz (100kHzステップ)
時 計 精 度	月差+/-60秒
乾電池での 連続使用時間 の目安	AMラジオ：約18時間 FMラジオ：約18時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度で使用時)
入 力 端 子	φ3.5mm 外部音声入力ジャック
外 形 寸 法	幅180×高さ132×奥行66mm (キャリアハンドル収納時、突起物含まず)
質 量	約600g(乾電池含まず)

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。


株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話 受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-9723D

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。
間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる場合があります。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

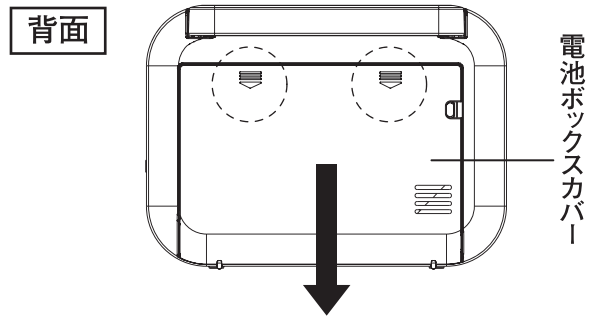
 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- | |
|--|
| <p>●乾電池は、充電しない。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。</p> |
| <p>●コンセントで使用する際は、指定以外の電源、電圧、プラグの極性で使用しない。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。</p> |
| <p>●コンセントで使用中に雷が鳴り出したら、電源コードのプラグに触れない。
落雷による感電などの原因となります。</p> |
| <p>●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。
落雷の原因となります。</p> |
| <p>●電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。感電、ショート、火災の原因となります。</p> |
| <p>●本機を分解、改造しない。
感電、ショート、火災、けがの原因となります。</p> |
| <p>●本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。</p> |
| <p>●本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。</p> |
| <p>●水などの液体の入ったものを本機の上に置かないでください。
火災や感電の危険があります。</p> |
| <p>●本機の上に、例えば火のついたロウソクのような火災の原因となるようなものを置かないでください。火災や感電の危険があります。</p> |

電源について（AC/DC2電源方式）

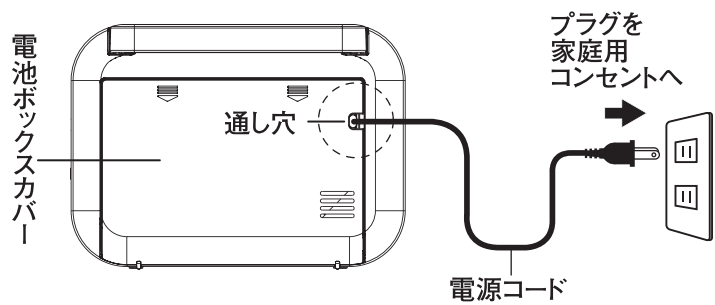
1.乾電池の入れ方



- ① 本体背面の電池ボックスカバーを、左右2箇所の矢印部分を押しながら、下にスライドさせて開きます(上図参照)。
- ② 電池ボックスに、単2形乾電池4本(別売)を入れます。
電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。
- ③ 電池ボックスカバーを①と逆の手順で閉めると、装着完了です。

- ※ご使用時に音が小さくなったり歪む場合は、電池が消耗していますので新しい電池に交換してください。
- ※本機にはアルカリ乾電池のご使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。
- ※本機を長期間ご使用にならないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。
- ※電池交換の時には電源プラグを家庭用コンセントに差し込んだ状態で行ってください。電源プラグを抜いた状態で行うと時刻設定などが消え、再設定が必要になります。

2. 家庭用コンセントへの接続



- ① 本体背面の電池ボックスカバーを開きます。
(「1.乾電池の入れ方」項目①を参照)。
- ② 電池ボックス内に収納されている電源コードを出して、電源コードの通し穴に通しながら、電池ボックスカバーを閉めます
(上図参照)。
- ③ 電源コードのプラグを家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます。

※家庭用コンセントに接続すると、電源が自動的にAC電源に切り替わります。乾電池でご使用になりたいときは、電源コードのプラグを家庭用コンセントから抜いてください。

※プラグを抜く際は、プラグ本体を持って行ってください。コードを持って抜きますと断線する場合があります。

⚠ 注意

「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- | |
|--|
| ● 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のある所には置かない。
故障の原因となります。 |
| ● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、
異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。 |
| ● 本機を狭い場所や壁に押し付けるなど通気が妨げられる場所に設置し
ないでください。故障及び火災の原因となります。 |
| ● 本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさが
ないでください。故障及び火災の原因となります。 |
| ● 電池はプラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。
電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。 |
| ● 指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用し
ない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使用しない。
電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。 |
| ● 電池を破棄する際は、地方自治体の条例または指示に従ってください。 |
| ● 電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。
電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。 |
| ● 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出す。
電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。 |
| ● 音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響
を与えることがあります。 |

ラジオ本体のお手入れの仕方

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。シンナー、ベンジン、アルコールは、本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

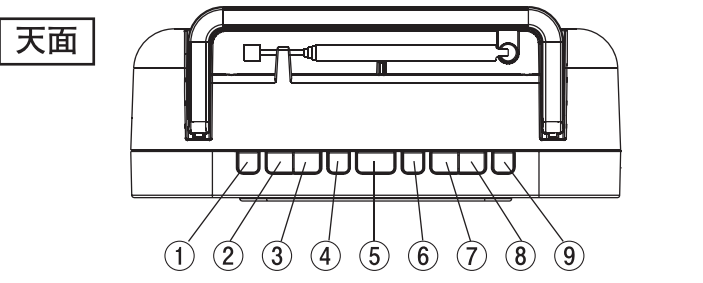
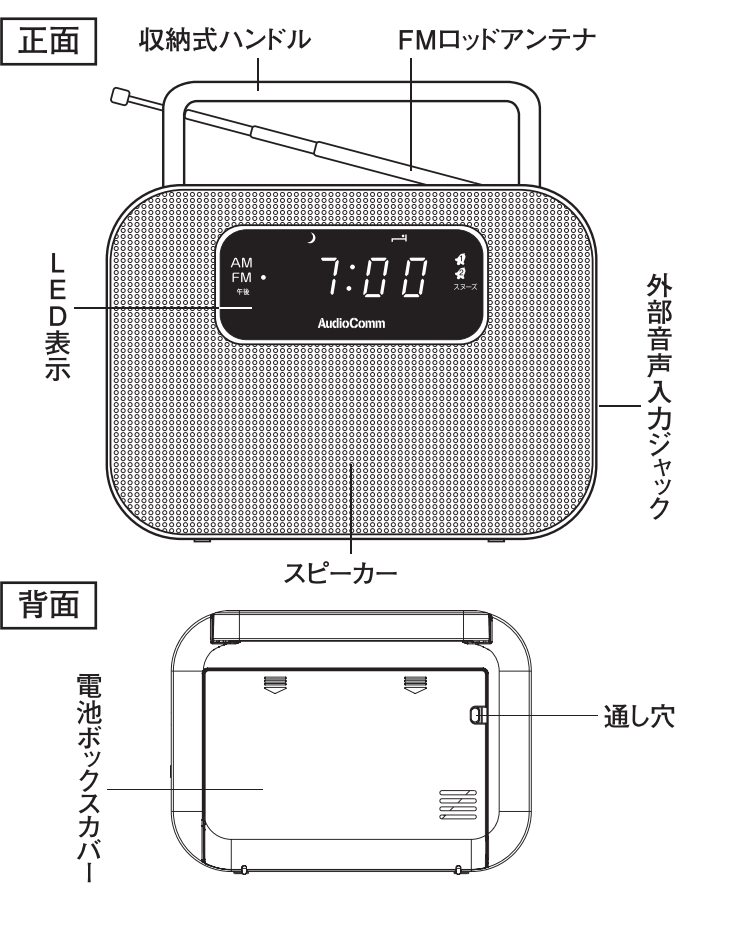
故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・ 音量が最小になっていないか確認。 ・ 乾電池の残量を確認（残量がない場合は電池を交換）。
液晶表示が出ない	・ LED表示の照度調節が消灯に設定されていないことを確認。
雑音が入る	・ 携帯電話、テレビ、蛍光灯、パソコンの近くで使用していないことを確認。

Memo

各部の名称



ボタン表記	機能説明
① 電源/切換	電源のオン・オフ/アラームを止める/バンド切換
② 音量(-)/アラーム2の設定	
③ 音量(+)/アラーム1の設定	
④ タイマー	スリープタイマーとタイマーブザーの設定
⑤ スヌーズ	LED照度調節/スヌーズ
⑥ 時刻/M	時刻の設定/メモリー
⑦ <時	選局(-)/時の選択
⑧ 分>	選局(+)/分の選択
⑨ 自動選局/メモリー	自動選局/プリセットメモリーの選択

時刻、アラーム、スリープなどについて

- 時刻の設定
- ① 電源オフのときに、時刻表示が点滅するまで、「時刻/M」ボタンを数秒長押しします。
- ② 点滅している間に「<時」ボタンを押して「時」を設定します。その後「分>」ボタンを押して「分」を設定します。それぞれのボタンを押すごとに「時」「分」の数字が増えます。※本機の時計は12時間表示です。午後の場合は「午後」ランプが点灯します。
- ③ 最後に「時刻/M」ボタンを押して、時刻表示が点滅から点灯に変わったら、時刻設定が完了です。
- ※時刻設定中に約5秒程度何も操作をしないと、その時点で時刻が確定し、点滅が終了します。
- ※時刻を修正をする場合、手順①から再設定してください。
- ※電源オン時、ラジオ使用時は時刻設定はできません。



「照度調節」について

※「スヌーズ」を押すごとにLED表示を明→暗→消灯の3段階に調節できます。

※家庭用コンセントでご使用の場合は液晶表示は常時点灯となりますが、乾電池でご使用の場合は省エネ回路のため、ボタン操作をしないと10秒以内に消灯します。

※LED表示が消灯の場合、表示パネルで動作確認できないため誤操作の原因になります。機能設定の際にはLED表示を明るく設定してから行ってください。

- 「アラーム1」の使い方
- ① アラーム時刻を設定
- 電源オフのときに、時刻表示が点滅するまで、「音量」ボタンを数秒長押しします。点滅している間に「<時」ボタンを押して「時」を設定します。その後、「分>」ボタンを押して「分」を設定します。
- ② アラーム音を設定
- 「音量」ボタンを押し、「<時」または「分>」でアラーム音を

- 選択します。
- 「bb」表示はブザー音。「F」表示はラジオ放送となります。
- ③ 「音量」ボタンを押してアラーム設定を完了します。（「アラーム1」ランプが点灯）設定時刻にアラーム音が鳴ります。
- ④ アラームを止めるときは「電源/切換」ボタンを押します。
- ⑤ 「アラーム1」を解除するには電源オフのときに、「音量」ボタンを押します。（「アラーム1」ランプが消灯）
- ※アラーム音でラジオを選択した場合、最後に聴いた放送局およびそのときの音量がアラーム音となります。アラーム音に向かない小音量の設定でないことをよくご確認のうえご使用ください。
- ※アラームを止めずにそのままにした場合は約1時間後に自動的に止まります。
- ※アラームを解除しない場合、毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。



- 「アラーム2」の使い方
- ① 電源オフのときに、時刻表示が点滅するまで、「音量」ボタンを数秒長押しします。あとは「アラーム1の使い方」と同じ手順でご使用になれます。
- ② 「アラーム2」を解除するには電源オフのときに、「音量」ボタンを押します。（「アラーム2」ランプが消灯）



- 「スヌーズ」の使い方
- ① アラーム音が鳴っているとき「スヌーズ」ボタンを押すと、いったん止まりますが、約9分後に再びアラーム音が鳴ります。（「スヌーズ」と「アラーム1またはアラーム2」のランプが点滅）
- ② スヌーズ解除には「電源/切換」ボタンを押します。（「スヌーズ」ランプのみ消灯）



ラジオの使い方

ラジオのLED表示例

AM/FM表示 AM FM 午後

周波数表示 80.0

スヌーズ

① 「電源/切換」ボタンを押して電源を入れます。

② さらに「電源/切換」ボタンを押すとFM→AM→AU（外部音声入力）の順に切り換わりますので、AM、FMどちらかを選択します。（LED表示で、選択した側にランプが点灯）

③ 「<時」または「分>」ボタンを押し、お聴きになる放送局に合わせます。

なお、「<時」または「分>」ボタンを数秒長押しすると自動選局となり電波の強い放送局を自動検知して止まります。

※自動検知できない放送局は、手動で選局してください。

※自動選局中は、音量は自動的に消音になります。

④ 「音量」または「音量」ボタンを押してお好みの音量に調節します。（LED表示で音量が最小00～最大15まで表示されます）

⑤ ラジオの電源を切るときは、「電源/切換」ボタンを2秒ほど長押しします。（LED表示は時刻表示になります。なお、電源を切らない場合も数秒するとLED表示は時刻表示になります）

■ AM放送の受信について

本体を放送が一番良く受信できる方向に向けてください。

■ FM放送の受信について

FMロッドアンテナを伸ばして一番良く受信できる方向に向けてください。

- 「スリープタイマー」の使い方
- ① ラジオを使用のときに、「タイマー」ボタンを押すごとに、120→90→60→30→15→10→05(分)→OFFの順番でスリープ時間を選べます。（OFF以外は「スリープタイマー」ランプが点灯）
- ② 選んだ時間後にラジオが自動的に電源オフとなります。
- ③ スリープを解除するには「タイマー」ボタンを「OFF」まで押します。（「スリープタイマー」ランプ消灯）
- 「タイマーブザー」の使い方
- ① 電源オフのときに、「タイマー」ボタンを押すごとに、120→90→60→30→15→10→05(分)→OFFの順番でタイマー時間を選べます。OFF以外は「タイマーブザー」ランプが点灯。
- ② 選んだ時間後にアラーム音（ブザー音のみ）が鳴ります。
- ③ アラームを止めるには「電源/切換」ボタンを押します。
- ④ タイマーを解除するには、「タイマー」ボタンを「OFF」まで押します。（「タイマーブザー」ランプが消灯）



外部スピーカーとしての使い方

- ① 本機の外部音声入力ジャックとお手持ちの再生機の音声出力ジャックに対応したステレオ用接続コード(別売)を準備して各ジャックに接続します。（出力音声はモノラルになります）
- ② 再生機の電源を入れて、音量を絞ります。
- ③ 本機の「電源/切換」ボタンを押して電源を入れます。さらに押すごとにFM→AM→AU（外部音声入力）と切り換わりますのでAUを選択します。（LED表示でAUが点灯）
- ④ 再生機を再生し、本機の「音量」、「音量」ボタンと、再生機の音量調節を使用してお好みの音量に調節します。
- ⑤ ご使用を終えるときは、本機の「電源/切換」ボタンを2秒ほど長押しして電源を切った後、再生機を停止して電源を切ります。最後に接続コードのプラグを抜きます。



プリセットメモリーの使い方

「P01」のLED表示

■ 手動選局してメモリーする場合

① 「ラジオの使い方・項目①～③」の手順で登録したい放送局を選局します。

② 「時刻/M」ボタンを押すとLED表示にP01が点滅します。点滅中に「<時」または「分>」ボタンを押して、設定する番号（P01～P10）を選びます。

③ 再度「時刻/M」ボタンを押すと設定した番号でメモリー完了です。

④ 同じ手順で、AM/FM各10局までメモリーが可能です。

■ メモリー/自動選局機能を利用する場合

① 「ラジオの使い方・項目①～②」の手順でAMかFMを選択します。

② 「自動選局/メモリー」ボタンを数秒長押しすると、電波の強い放送局を自動でメモリーします（AM/FM各10局）。

※メモリー/自動選局機能を利用すると、以前のプリセットメモリーは全て上書き消去されますのでご注意ください。

■ プリセットメモリーした局の聴き方

① 「ラジオの使い方・項目①～②」の手順でAMかFMを選択します。

② 「自動選局/メモリー」ボタンを押すごとに、LED表示にメモリー番号が表示され選局されますので、お聴きになる番号を選んでお聴きください。

※本機はモノラル音声です。ステレオ音声ではありません。

※本機はTV放送の音声は受信できません。

-----（キリトリ線）-----

保証書 持込修理

商品名	AM/FM デジタルクロックラジオ	★お買い上げ日： 年 月 日
型番(品番)	RAD-F3357M-K (07-9723) RAD-F3357M-W (07-9724)	保証期間:本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前	様
	★ご住所 〒 ー	
	電話 ()	
修理メモ		
販売店	★住所 店名 電話	
	(印)	

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00～17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735

平日 9:00～17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-9723D